

学校規模適正化についてのアンケート結果報告（山崎西小学校）

■児童アンケート

設 問	回答数	割合 (%)
①学校に行くのが楽しみですか。		
A: そう思う	81	60%
B: おおむねそう思う	38	28%
C: あまり思わない	11	8%
D: 思わない	5	4%
計	135	—
②進んで繰り返し「計算練習」をしていますか。		
A: そう思う	41	31%
B: おおむねそう思う	45	33%
C: あまり思わない	31	23%
D: 思わない	18	13%
計	135	—
③進んで繰り返し「漢字を書く練習」をしていますか。		
A: そう思う	52	39%
B: おおむねそう思う	41	31%
C: あまり思わない	28	21%
D: 思わない	12	9%
計	133	—
④進んで読書をしていますか。		
A: そう思う	58	44%
B: おおむねそう思う	36	27%
C: あまり思わない	23	17%
D: 思わない	16	12%
計	133	—
⑤字を丁寧に書いていますか。		
A: そう思う	54	40%
B: おおむねそう思う	44	33%
C: あまり思わない	30	22%
D: 思わない	7	5%
計	135	—
⑥授業中の勉強がよくわかりますか。		
A: そう思う	73	55%
B: おおむねそう思う	50	38%
C: あまり思わない	6	4%
D: 思わない	4	3%
計	133	—
⑦先生に伝えたいことは、話せていますか。		
A: そう思う	79	59%
B: おおむねそう思う	33	24%
C: あまり思わない	15	11%
D: 思わない	8	6%
計	135	—
⑧家で宿題をきちんとしていますか。		
A: そう思う	96	71%
B: おおむねそう思う	34	25%
C: あまり思わない	3	2%
D: 思わない	2	2%
計	135	—

設 問	回答数	割合 (%)
⑨掃除の時間、一生懸命に取り組んでいますか。		
A: そう思う	99	73%
B: おおむねそう思う	30	22%
C: あまり思わない	5	4%
D: 思わない	1	1%
計	135	—
⑩「早寝・早起き・朝ごはん」を守れていますか。		
A: そう思う	67	50%
B: おおむねそう思う	44	33%
C: あまり思わない	14	10%
D: 思わない	9	7%
計	134	—
⑪毎日、大きな声であいさつができていますか。		
A: そう思う	78	58%
B: おおむねそう思う	40	29%
C: あまり思わない	12	9%
D: 思わない	5	4%
計	135	—
⑫自分が「頑張った」と思えることがありますか。		
A: そう思う	92	68%
B: おおむねそう思う	29	22%
C: あまり思わない	6	4%
D: 思わない	8	6%
計	135	—
⑬一緒に楽しく遊ぶことができる友達がありますか。		
A: そう思う	110	82%
B: おおむねそう思う	18	13%
C: あまり思わない	2	2%
D: 思わない	4	3%
計	134	—
⑭困っている友達に、声をかけることができていますか。		
A: そう思う	61	45%
B: おおむねそう思う	54	41%
C: あまり思わない	13	10%
D: 思わない	5	4%
計	133	—
⑮「頑張ろう」と思ったことに、力いっぱい取り組んでいますか。		
A: そう思う	92	68%
B: おおむねそう思う	36	27%
C: あまり思わない	3	2%
D: 思わない	4	3%
計	135	—

■山崎西小学校 アンケート回答数

児 童	135名
保護者	86名
地 域	25名

■地域アンケート

設 問	回答数	割合 (%)
1. 学校規模適正化により新しく開校した小学校を訪問したり、学校行事に参加されたことはありますか。		
ある	23	100%
ない	0	0%
計	23	—
2-①適正化してよかったと思われませんか。		
A: そう思う	14	56%
B: おおむねそう思う	6	24%
C: あまり思わない	5	20%
D: 思わない	0	0%
計	25	—
2-②子ども達は楽しく登校していると思われませんか。		
A: そう思う	13	52%
B: おおむねそう思う	12	48%
C: あまり思わない	0	0%
D: 思わない	0	0%
計	25	—
2-③教育環境や施設環境が良くなったと思われませんか。		
A: そう思う	10	43%
B: おおむねそう思う	10	43%
C: あまり思わない	3	14%
D: 思わない	0	0%
計	23	—
2-④学校は、地域や家庭とのつながりを大切にしたい教育活動を進めていると思われませんか。		
A: そう思う	7	28%
B: おおむねそう思う	16	64%
C: あまり思わない	2	8%
D: 思わない	0	0%
計	25	—
2-⑤学校は、校報・学級だより、ホームページなどで情報発信に努めていると思われませんか。		
A: そう思う	14	56%
B: おおむねそう思う	9	36%
C: あまり思わない	2	8%
D: 思わない	0	0%
計	25	—
2-⑥校区が広がったことにより地域間の交流の場がさらに必要と思われませんか。		
A: そう思う	15	60%
B: おおむねそう思う	7	28%
C: あまり思わない	3	12%
D: 思わない	0	0%
計	25	—

■保護者アンケート

設 問	回答数	割合 (%)
1-①楽しんで学校に行っていますか。		
A: そう思う	52	60%
B: おおむねそう思う	29	34%
C: あまり思わない	5	6%
D: 思わない	0	0%
計	86	—
1-②友達関係は良好と思われませんか。		
A: そう思う	33	38%
B: おおむねそう思う	47	55%
C: あまり思わない	6	7%
D: 思わない	0	0%
計	86	—
1-③家庭学習をしていますか。		
A: そう思う	31	36%
B: おおむねそう思う	40	47%
C: あまり思わない	14	16%
D: 思わない	1	1%
計	86	—
1-④お手伝いをしていますか。		
A: そう思う	25	29%
B: おおむねそう思う	32	38%
C: あまり思わない	23	27%
D: 思わない	5	6%
計	85	—
1-⑤学校の様子を伝えていきますか。		
A: そう思う	27	32%
B: おおむねそう思う	33	38%
C: あまり思わない	19	22%
D: 思わない	7	8%
計	86	—
1-⑥進んで読書をしていますか。		
A: そう思う	18	21%
B: おおむねそう思う	22	26%
C: あまり思わない	27	31%
D: 思わない	19	22%
計	86	—
1-⑦「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムが定着していますか。		
A: そう思う	34	40%
B: おおむねそう思う	35	41%
C: あまり思わない	14	16%
D: 思わない	3	3%
計	86	—
1-⑧互いのよさを認め合う気持ちや思いやりの心が育っていますか。		
A: そう思う	25	29%
B: おおむねそう思う	51	59%
C: あまり思わない	10	12%
D: 思わない	0	0%
計	86	—

設 問	回答数	割合 (%)
2-①学校は、児童一人ひとりに応じた学びと生活のきめ細かな指導に努めていると思われませんか。		
A: そう思う	21	25%
B: おおむねそう思う	53	63%
C: あまり思わない	9	11%
D: 思わない	1	1%
計	84	—
2-②学校は、交通指導や防災教育・安全教育等を通じて安全で安心な学校づくりに努めていると思われませんか。		
A: そう思う	28	34%
B: おおむねそう思う	48	58%
C: あまり思わない	7	8%
D: 思わない	0	0%
計	83	—
2-③学校は、道徳教育・読書活動・体験活動などを通じて、豊かな心を育てようとしていると思われませんか。		
A: そう思う	32	39%
B: おおむねそう思う	45	54%
C: あまり思わない	6	7%
D: 思わない	0	0%
計	83	—
2-④学校は、地域や家庭とのつながりを大切にしたい教育活動を進めていると思われませんか。		
A: そう思う	29	35%
B: おおむねそう思う	45	54%
C: あまり思わない	9	11%
D: 思わない	0	0%
計	83	—
2-⑤学校は、校報・学級だより、ホームページなどで情報発信に努めていると思われませんか。		
A: そう思う	31	37%
B: おおむねそう思う	41	49%
C: あまり思わない	11	13%
D: 思わない	1	1%
計	84	—

穴栗市教育委員会事務局 教育総務課
 穴栗市山崎町中広瀬133-6
 電話 0790-63-3121
 FAX 0790-62-0065
 メール kyoikusomu-ka@city.shiso.lg.jp

■山崎西小学校 自由意見（抜粋）

地域としては今でも小学校があったらいいと思うが、開校して4年が過ぎた昨今、地域に根ざした学校をお願いします。

規模適正化という名のもとに統合しているが、学校がなくなった時点で、地域の高齢化が大幅に進むという現実がある（予想以上に）。ある意味で小学校は地域の礎であり、人数の適正化ばかりでなく地域の荒廃等を考える必要もある。

自治会の交流は数年前より行っているが、今後、老人クラブ、女性会等でも交流の場が必要である。

人口減少社会の中で、どうしたら歯止めをかけられるのか。そのためにどのような学校が望ましいか。財政面も含めて適正化の進んでいない地域に説明をし取り組んでほしい。

同校区内に2地区の生推協が存在していることに違和感がある。

スクールバス通学の対象基準距離を短くして欲しい。統合は良い事であったと思っているが、バス通学の子とそうでない子との間には、体力的、精神的、そして経済的にも負担の差があるように思える。

学校行事のプログラムや毎月の学校園だよりなど市広報と一緒に地区全体に配られるので嬉しい。下校時見回っているが、学校スクールバスで半分以上帰るので、少数の下校子どもですが、楽しそうに仲良くしている。

民生児童委員の交流、活動も土万地区と行うこともあり、より地域の輪が広がった。

閉校により過疎に拍車がかかった。

今後も適正化を進めてほしい。

全国学力テストの結果概要や分析結果を他の市はHP上に公開しているが宍粟市は未公開である。公開して、もし成績が悪くてもその上でどのような対策がとれるのか情報発信していただきたい。

制服がいかにも田舎！という感じのデザインで残念ある。特にズボンにはデザインもですが素材が人によってはかゆくなると思う。私服で登校させたい。

地域交流もどうしても学校付近が多くなるため、適正化の裏でより過疎化していく問題を共に考えていく必要があるのではないだろうか。

統合前後は不安も多かったけど、今はより多くの友達や地域の方と関われた事が本当に良かったと思っている。

友達が増えたことが一番よかった。しかし、バス通学はとてもありがたい事ではあるが、その事で、体力、持久力などの低下につながっているのではないかと思う。やはり、歩いたの登下校の中で育つものも多いのではないかと痛感している。

先生方が、子供達一人一人を理解し指導して下さるので安心である。感謝している。

毎日楽しく学校へ通っていて、先生方にはとても感謝している。

先生の質の向上を図って欲しい。

前よりも地域との関わりの授業などが減ってきているのが残念である。

学校の先生方は一人一人の負担が多いのではないかと気がかりに思う事がある。PTAについて色々な所で賛否のあることだが、小学生の親も地域の活動中では隣保長、婦人部、子ども会の役、中学校や幼稚園に通っている兄弟がいたら×2倍と本当に大変である。そういったアンケートも市でとっていただきたいと思う。

クラスの人数がとても少なく、淋しく感じる時もあったが、今ではそれが良い所と感じるようになった。

ホームページをもっと活用してほしい。

<p>クラスの落ち着きを感じられない。</p>
<p>学校でのよかった所だけでなく、悪かったところも保護者に知らせてほしい。</p>
<p>機会があり指導等を行っても、素直に返事が言える子もあるが、返事、頷きもしない子もあり、反応がわからない子もあり気になった。</p>
<p>小学校規模適正化については、これ以上の合併をさけてほしい。合併後小学校区が広くなり子どもたちの安全が守られにくい面がある。地域に学校がなくなると過疎化が進む。反面、小規模校だった小学校の児童は、たくさんの児童と学習できるようになる教育環境はよい。しかし、マイナス面を多く考えられる。先生方は子どもたちの安心安全を十分に考えた取り組みや指導をされて、校務多忙のように思える。</p>
<p>地域の行事に参加するのですが、全員ではなく、指定学年だけの参加の為、都合をつけてまで参加しなくてはならないのがすごく親（保護者）として負担になっている。</p>
<p>置勉はできないのか。</p>
<p>子どもの人数が少なくなり、下校時、ひとりでいる時間が長くなるという心配がある。地域、時間帯などからバス通学も考えていただけたらと思う。</p>